

# Takara standard

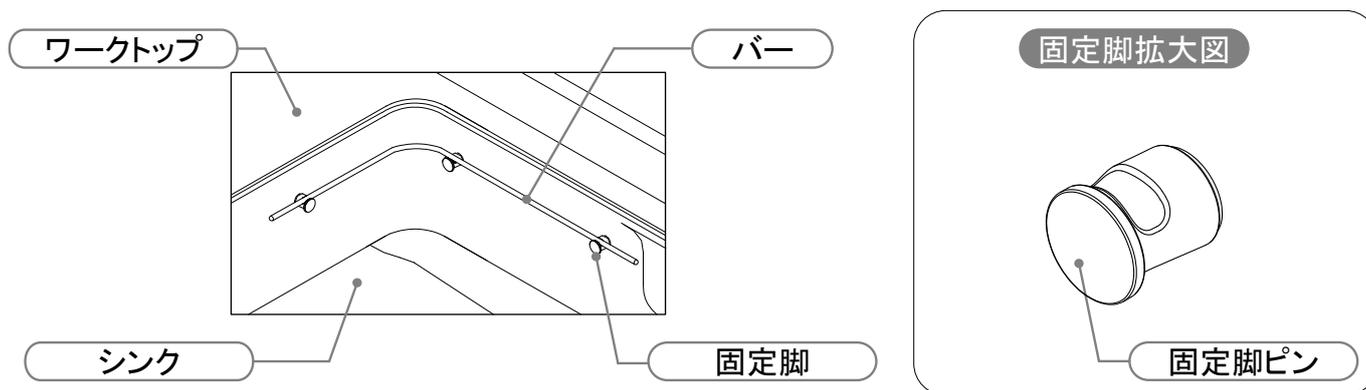
## らくエルシンク

### 取扱説明書・設置説明書

このたびは、タカラスタンダード システムキッチンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
特に、「安全上のご注意」については、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。  
この取扱説明書はいつでもご覧になれる場所に、大切に保管してください。

システムキッチンの取扱説明書とあわせてご確認ください。

#### 1.各部の名称



#### 2.安全上のご注意 必ずお守りください

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。  
安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

**⚠ 注意** この表示の欄は「使用者が傷害を負う、または物的損害の発生が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

**🚫 禁止** このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。

#### ⚠ 注意



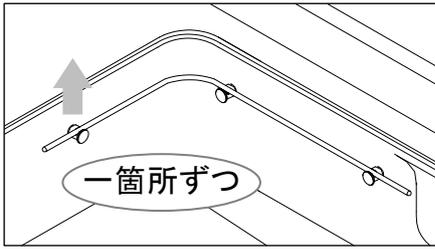
禁止

- バーに最大収納重量以上のものを掛けない**  
バーに掛けられる最大収納重量は合計で4.5kgです。  
最大収納重量を超えると小物カゴや収納物が落下し、破損するおそれがあります。
- 固定脚に付属のバー以外を取りつけない**  
固定脚が損傷したり、小物カゴや収納物が落下し、破損するおそれがあります。
- 変形したバーを取りつけない**  
固定脚からバーがはずれ、小物カゴや収納物が落下し、破損するおそれがあります。

### 3. 使いかた

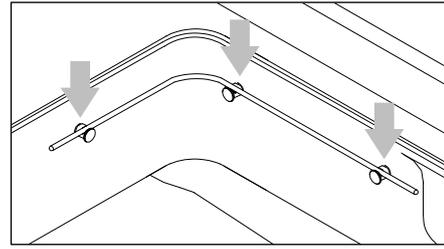
#### ■ 取りはずし方

両手でバーを持ち、一箇所ずつ順番にゆっくり引き上げてください。



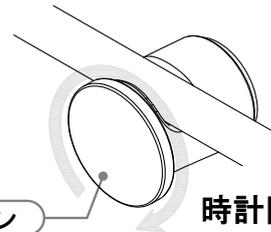
#### ■ 取り付け方

バーを図の位置に置き、各固定脚の上からクリック感があるまでバーを押し込んでください。



#### ● 取り付け時のクリック感が弱くなった場合

固定脚ピンがゆるんでくると、クリック感が弱くなる場合があります。バーを取りつけた状態で、固定脚ピンを手で時計回りに回してください。



固定脚ピン

時計回り

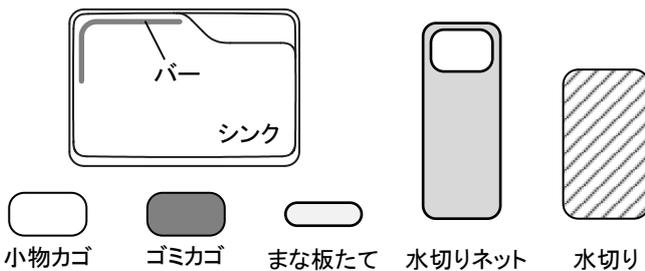
#### ご使用上のお願い

- 固定脚ピンがゆるんだ状態で使用しない  
固定脚ピンの破損やパッキンの損傷につながります。
- 固定脚をシンクから取りはずさない  
パッキンの損傷・紛失につながり、固定脚の破損や漏水の原因になります。

- バーが変形するほど強い力をくわえない  
固定脚の破損や漏水の原因になります。

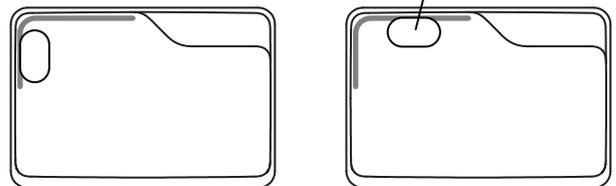
#### シンク用オプションについて

#### ● 設置ポジション



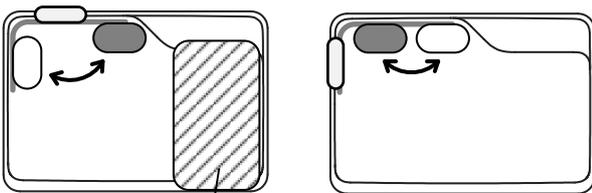
【標準装備】  
・おすすめポジション

小物カゴの位置は変更できます。



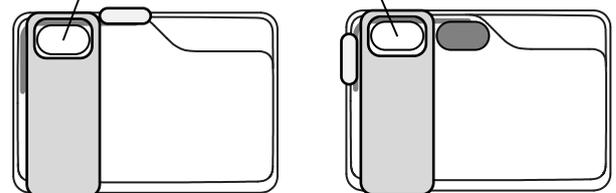
#### 【オプションを複数個使用する場合】

入れ替え可能です。



水切りはこのポジションのみ設置可能です。

※このポジションにゴミカゴは設置できません。

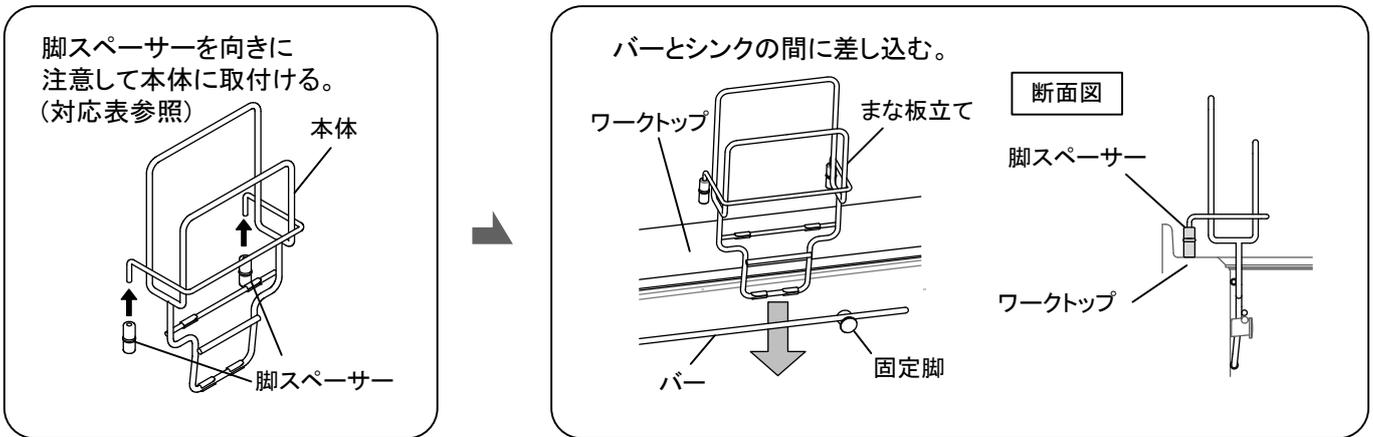


## ● ゴミポケットSGN

市販のネットや袋をかけてご使用ください。

## ● まな板たてSGN

### 【取り付けかた】



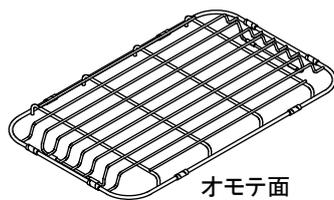
### 【脚スペーサー対応表】

ワークトップ材質	人造大理石製	ステンレス製	クォーツストーン
天板厚み	6mm/9mm		12mm
脚スペーサー	上  下		上  下

### 【取りはずしかた】

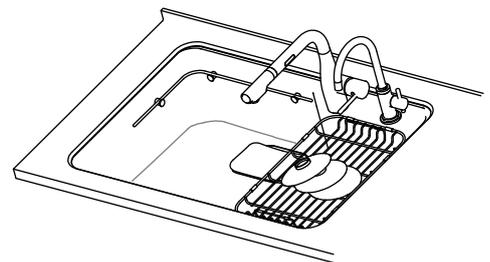
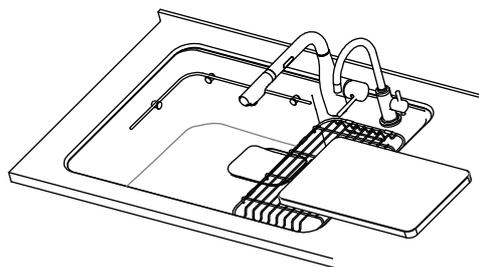
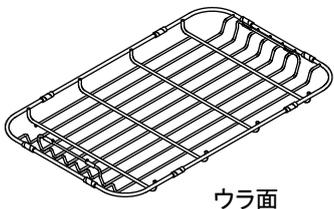
取り付けかたと逆の手順で取りはずす。

## ● 水切りSGN



【オモテ面 使用例】  
まな板を渡して使用できます。

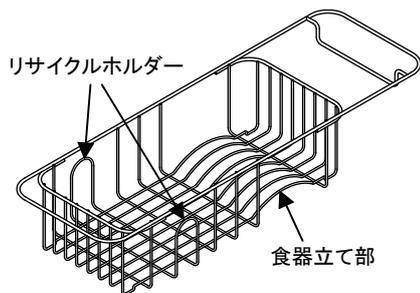
【ウラ面 使用例】  
食器の水切りに使用できます。



### ご使用上のお願い

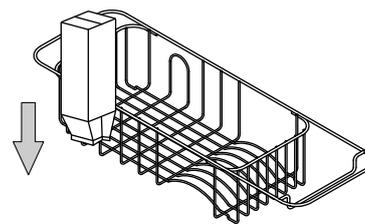
- **使用する際は必ず端に寄せて設置する**  
水切りや収納物が落下し、破損や怪我につながるおそれがあります。
- **水切りの上でまな板を使用する際は十分に注意する**  
まな板の材質によっては滑りやすくなることがあり、破損や怪我につながるおそれがあります。
- **水切りの上で固い食材を切らない**  
製品の落下・破損・変形につながるおそれがあります。

## ● 水切りネットSGN



### 【牛乳パック類】

リサイクルホルダー一部に牛乳パック類の開口部を差し込み、立てて乾燥させることができます。カゴの内側・外側のどちらでも立てることができます。



### 【食器類】

食器立て部に食器を立てて使用することができます。  
※食器の形状によってはうまく立てられない場合があります。

## 4.お手入れ

お手入れにつきましては、別途付属している「システムキッチンの取扱説明書」をご確認ください。

# ここからは設置説明書となります

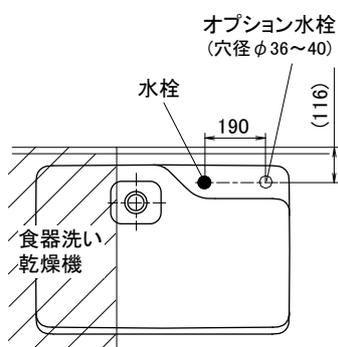
## 設置される方へのお願い

- ◆本説明書は、SGNシンクの設置に関する項目のみを記載しています。  
ここに記載のない内容は、システムキッチンの設置説明書を参照してください。
- ◆本説明書は設置完了後、紛失や汚れのないように保管し、お客様にお渡しください。

## 1. 水栓の取付け

### 水栓穴の加工

オプション水栓(アルカリ整水器、浄水器専用水栓)を取付ける場合は、下図にしたがってシンクの所定の位置に穴加工を行ってください。(●印:穴加工は不要 ○印:現場で穴加工)



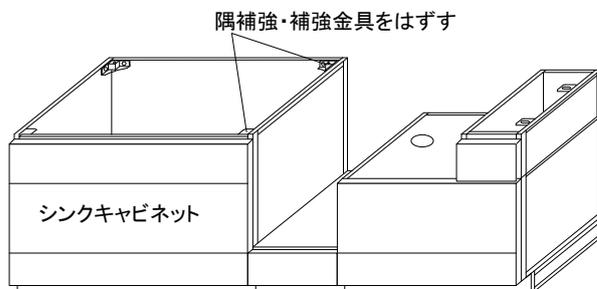
- ・図はシンク勝手Lタイプの場合です。  
Rタイプは左右反転になります。
- ・水栓とオプション水栓は入替不可です。
- ・水栓のみ取付けの場合は排水口側(黒●)のみ設置可能です。
- ・シンク下食器洗い乾燥機は排水口側(セットエンド側)のみです。  
食洗の反転は不可です。

## 2. ワークトップ設置前の準備

人造大理石製ワークトップをホーロー製キャビネットに設置する場合のみ

- ①シンクキャビネットの該当する隅補強(補強金具)をはずしてください。

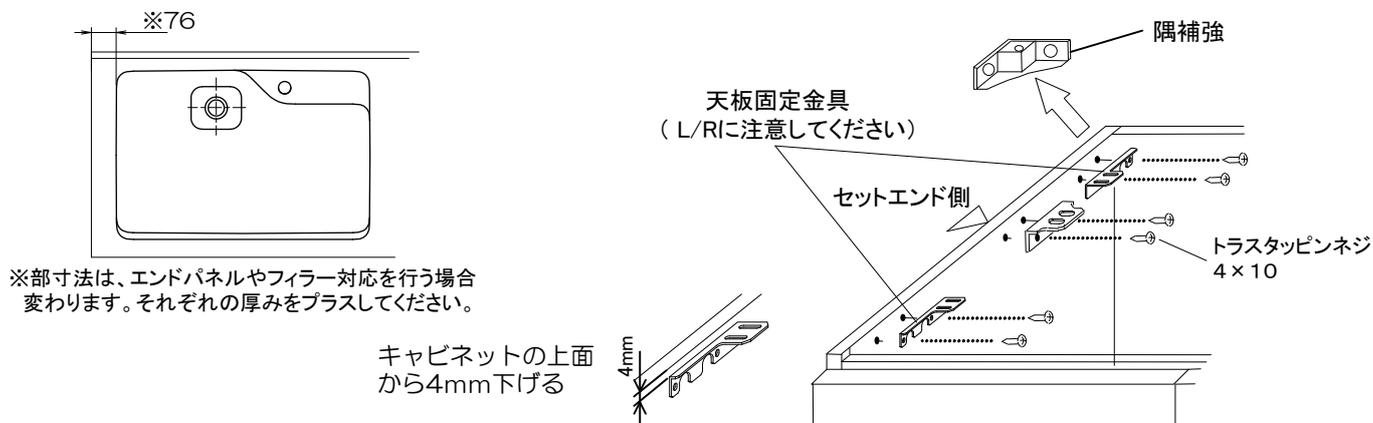
注)防錆のため、はずしたネジは元の位置に取付けてください。



②シンク位置がセットエンド側から下記寸法の場合は  
セットエンド側の隅補強2個をはずして、ワークトップに  
付属のネジで天板固定金具を取付けてください。

➡該当しない場合はシステムキッチンの設置説明書に  
従って天板固定金具を取りつけてください。

注)レミューの足元スライドタイプの場合は奥側の天板固定金具を取付ける穴がありませんので、奥側は取付け  
不要です。(隅補強ははずしてください。防錆のため、はずしたネジは元の位置に取付けてください。)



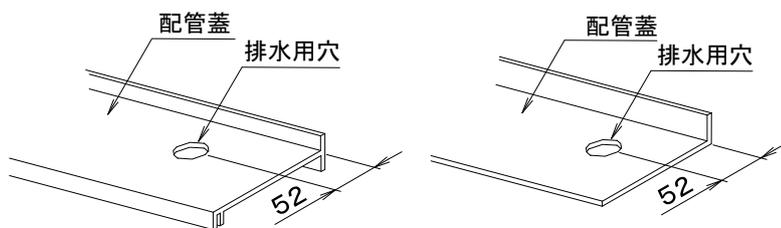
### 3. キャビネットの加工

ホーロー製キャビネットの場合のみ

#### 排水管用の穴加工

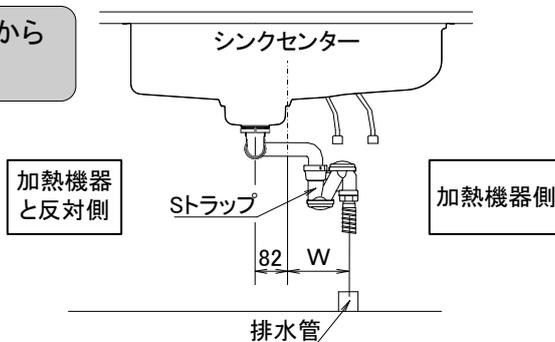
配管蓋に排水用の穴を加工してください。

- ・穴径 排水パイプで接続する場合:  $\phi 38$ 程度  
直管で接続する場合 :  $\phi 50 \sim \phi 60$
- ・奥行位置: 後側より52mm
- ・間口位置・シンクセンターからWmm



<配管蓋の形状はキャビネットによって異なります>

注)SGNシンクの排水口は、シンクセンターから  
82mmずれています。

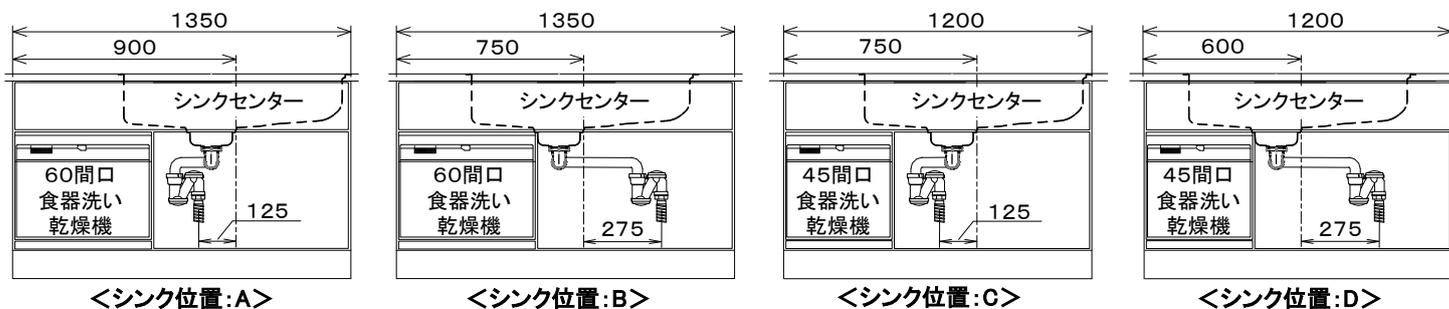


※シンク位置は次頁の図を参照してください。

キャビネット 間口	ノーマルタイプ F-RN~		シンク下食洗タイプ				
	W寸法	向き	F-RS~		F-RR~		
			W寸法	向き	W寸法	向き	
135	—	—	シンク位置:A	125	食洗側	—	—
			シンク位置:B	275	食洗と反対側		
120	10	加熱機器と反対側	275	食洗と反対側	シンク位置:C	125	食洗側
					シンク位置:D	275	食洗と反対側
105	10	加熱機器と反対側	—	—	275	—	食洗と反対側
90	275	加熱機器側	—	—	—	—	—

注)排水管的位置が上表と大きくズれている場合は、排水管を正しい位置に移動してください。  
移動できない場合は以下の項目に注意して、排水管の位置に合わせて穴を加工してください。

- ・引出や収納物と干渉しないように、Sトラップを配置できるかどうか。
- ・オプション水栓を設置する場合、カートリッジ等の設置スペースが確保できるかどうか。



## 木製キャビネットの場合のみ

### 給水・給湯管穴の加工

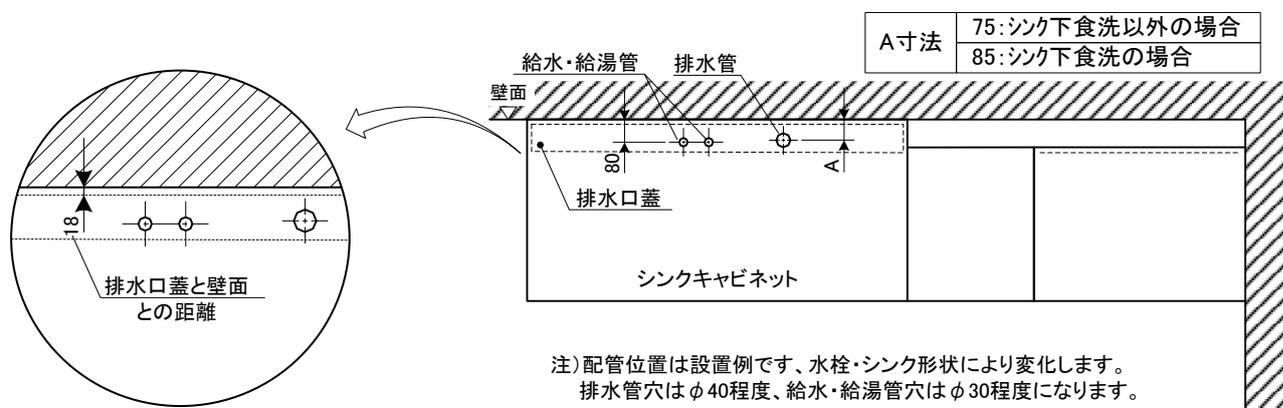
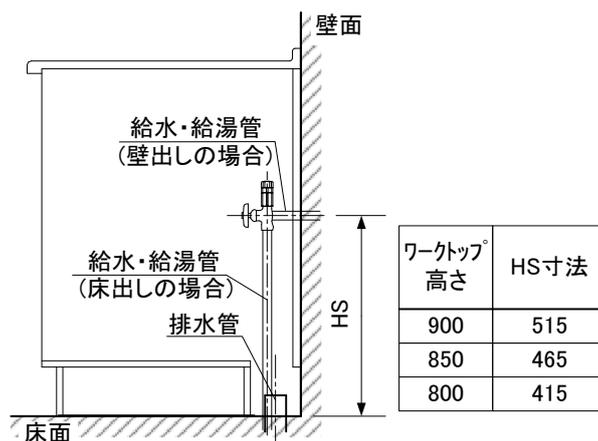
壁出しの場合はシンクキャビネットの後板に、床出しの場合はシンクキャビネットの排水口蓋に、  
φ30程度の穴を加工してください。

※水受けタンク設置時は、システムキッチンの設置説明書「タンク取付用下地材 貼付」に従って  
タンク取付用下地材を取りつけてください。

### 排水管穴の加工

シンクキャビネット排水口蓋にφ40程度の穴を加工してください。

注)加工前に、  
「4.排水部品の取付」と  
システムキッチンの設置説明書  
「10.給水・給湯管と水栓の接続工事」  
「11.排水管の接続」  
も合わせてお読みください。



## 4. 排水部品の取付

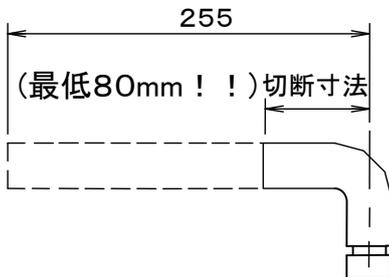
### 【1. 排水エルボの切断】

#### ホーロー製キャビネットの場合

排水エルボを所定の長さに切断してください。切断寸法はキャビネットやシンクの位置によって異なりますので、注意してください。

キャビネット		切断寸法
F-RN*120~105		85
F-RN*090		255(カット無)
F-RS*135	シンク位置:A	123
	シンク位置:B	255(カット無)
F-RS*120		255(カット無)
F-RR*120	シンク位置:C	123
	シンク位置:D	255(カット無)
F-RR*105		255(カット無)

※シンク位置は前頁の図を参照してください。



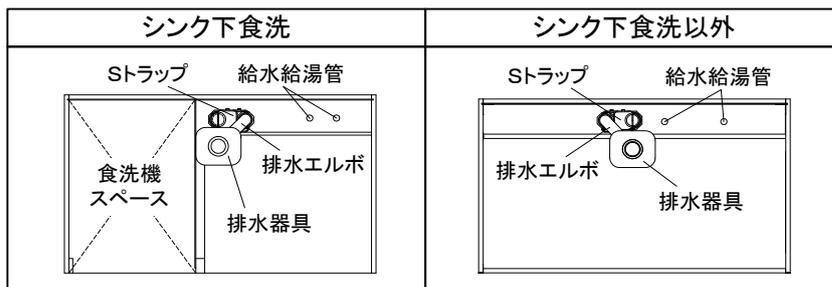
注) 排水管の位置が標準配管と異なり、その排水管の位置に合わせて排水蓋に穴を加工した場合は、排水エルボの切断は現場合わせで行ってください。

注) 切断寸法は、最低80mmとしてください。  
80mmより短くするとエルボの抜けや、漏水の原因となります。

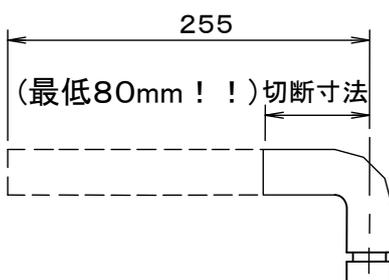
注) 切断部のバリ取り、切りクズの清掃を必ず行ってください。

#### 木製キャビネットの場合

#### <排水エルボ・Sトラップの向き一覧>



配管の立ち上げ位置からトラップまでの寸法を測定し、排水エルボをカットしてください。



注) 切断寸法は、最低80mmとしてください。  
80mmより短くするとエルボの抜けや、漏水の原因となります。

注) 切断部のバリ取り、切りクズの清掃を必ず行ってください。

## 【2. 排水器具・排水エルボ・ストラップの取付】

ホーロー製キャビネット・木製キャビネット共通

- ①排水栓と排水口の取付部のゴミ、ほこり等をふき取ってください。

注)排水栓と排水口の取付部に異物が残っていると、水漏れやシンクが錆びる原因になります。

- ②排水栓にパッキンを取付け、シンクの中から排水口に差し込んでください。

注)排水栓取付部のスキがなるべく均一になるように取付けてください。シンクが錆びる原因になります。

- ③排水栓をロックナットで仮固定してください。

- ④排水エルボの排水栓に差し込む側に、袋ナット・スリップワッシャ・台形パッキンを差し込んでください。

注)差し込む順序や台形パッキンの向きが間違っていないか確認してください。(A部詳細)

- ⑤排水エルボのOリングに傷や汚れの付着が無い確認のうえ、ストラップに差し込んでください。

注)B部の赤いラインが見えている場合は差し込みが不足しています。カチッと音がするまで奥に差し込んでください。

- ⑥排水パイプを排水蓋の穴に通してください。

- ⑦排水栓に排水エルボを接続し、ストラップが配管蓋の穴の位置にくるように排水栓・ストラップの向きを調整してください。

注)排水エルボは排水栓の奥まで差し込み、袋ナットをしっかりと締め付けてください。

- ⑧ストラップに排水パイプを取付けてください。

注)袋ナットをしっかりと締め付けてください。

- ⑨接続完了後、<排水栓のロックナット><排水栓と排水エルボを接続している袋ナット>を同梱している専用工具で増し締めしてください。

- ⑩シリコンを塗布した防臭キャップに排水パイプを通して、排水管に取付けてください。

注)●シリコン塗布を忘れると、水漏れ・悪臭・キャビネットの腐食の原因になります。  
●排水パイプが長い場合は必ず切断してください。排水不良の原因になります。

